

リスクモンスター株式会社

(東証JASDAQ上場 : 3768)

2014年3月期 決算補足資料



2014年5月15日



目次

1. 2014年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 企業概要 (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	【補足】『リスモン調べ』のご紹介 (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	【補足】新パッケージサービス『プレミアムパック』のご紹介 (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『リスクモンスター格付特約セット取引信用保険』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】スマートフォンアプリ『倒産度チェック』のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】新刊『与信管理奮闘日記』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】『J-MOTTO Web給与明細サービス』のご紹介 (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	【補足】『破産配当金データ作成アウトソーシング』のご紹介 (P.29)
9. その他サービス 業績 (P.10)	IRに関するお問合せ (P.30)
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	
11. 連結貸借対照表 (P.12)	
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	
15. 企業理念とビジョン(P.16)	
16. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2015年3月期 業績予想 (P.19)	
19. 2015年3月期 配当金予想 (P.20)	
20. 株主優待のご案内 (P.21)	

1Q

2Q

3Q

4Q

新パッケージサービス
『プレミアムパック』
提供開始

企業情報
簡易レポートサービス
『よくばりPDF』
改訂版リリース

新サービス
『社内格付システム』
提供開始



リスモンオリジナルマンガ
『ドラモン!』掲載開始

新サービス
『破産配当金データ
作成アウトソーシング』
提供開始

新刊
『与信管理奮闘日記』出版

スマートフォンアプリ
『倒産度チェック』リリース

日中ものづくり商談会
@上海2013 出展



『リスモングの与信管理講座』
掲載開始



株主優待制度
導入

リスクモンスター
九州営業所 開設

クラウドコンピューティング
EXPO2013(秋) 出展



リスモンちゃんねる
動画追加



RM格付の成績表
倒産企業分析レポート
『アナリストモンスター』
HP無料掲載開始

日中ものづくり商談会
@広東2013 出展



新サービス
『J-MOTTO
Web給与明細サービス』
提供開始

『リスクモンスター
格付特約セット
取引信用保険』
発売開始

リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
売上高	2,432,010 千円	2,451,189 千円	19,178 千円	100.8 %
営業利益	246,990 千円	234,384 千円	△12,605 千円	94.9 %
経常利益	252,417 千円	281,007 千円	28,589 千円	111.3 %
当期純利益	131,795 千円	162,717 千円	30,922 千円	123.5 %
1株当たり当期純利益	33.82 円	40.40 円	6.58 円	119.5 %
会員数	8,847 ID	9,765 ID	918 ID	110.4 %

◆売上高

BPOサービス等の売上高が落ち込んだものの、主力の与信管理サービス等とビジネスポータルサイトが堅調に推移したことや、2012年9月に設立した利墨(上海)商務信息咨询有限公司がその他の売上高増加に寄与し、全体ではほぼ前年並み。

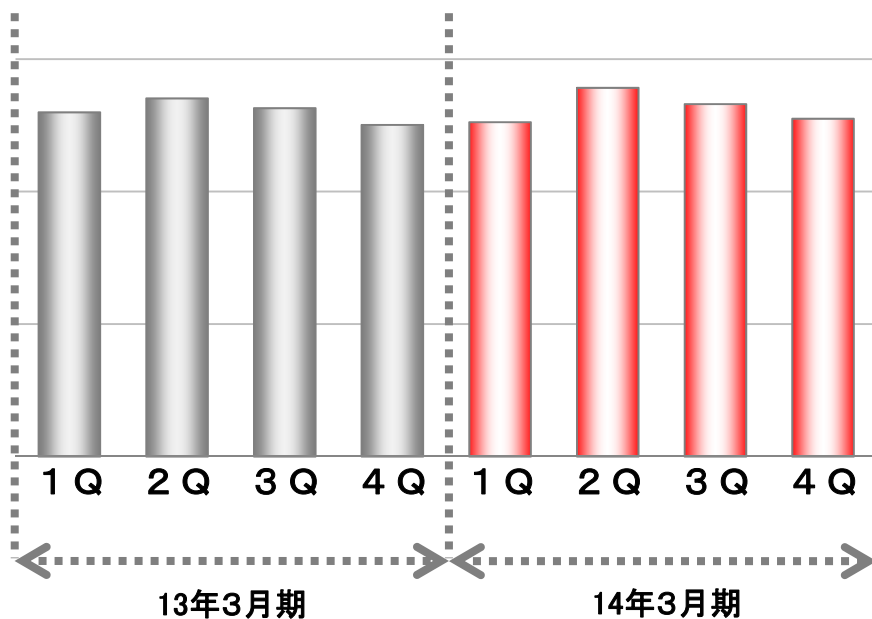
◆利益

- ・ビジネスポータルサイトが順調だったものの、与信管理サービス等での先行投資などで営業利益は前年同期を下回る。
- ・保険解約返戻金や投資事業組合運用益、投資有価証券売却益により経常利益と当期純利益は前年同期を上回る。

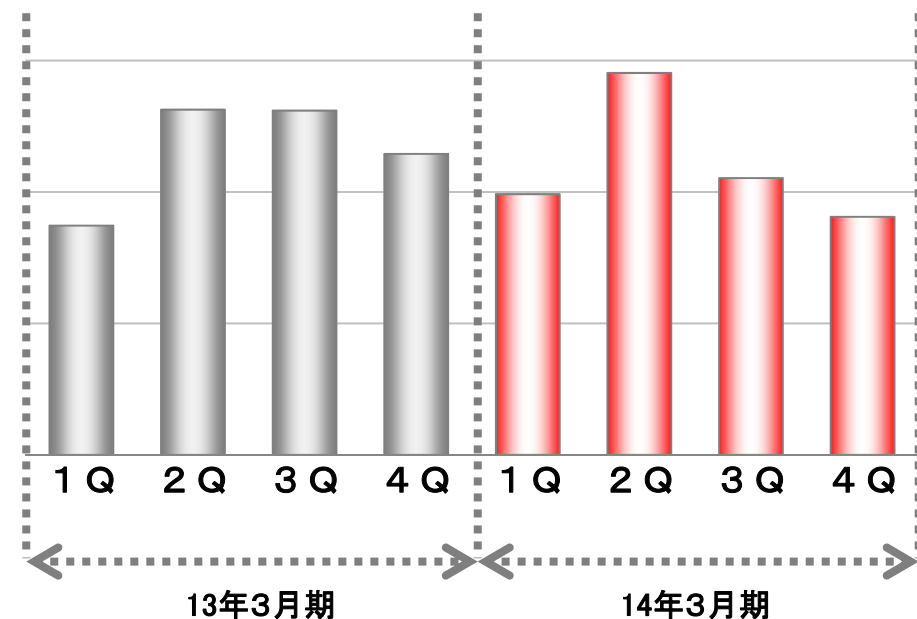
(単位 : 千円)

2013年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	605,616	630,078	612,929	583,385
営業利益	46,432	69,905	69,709	60,942
2014年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	588,235	648,650	620,050	594,251
営業利益	52,797	77,328	56,045	48,213

売上高



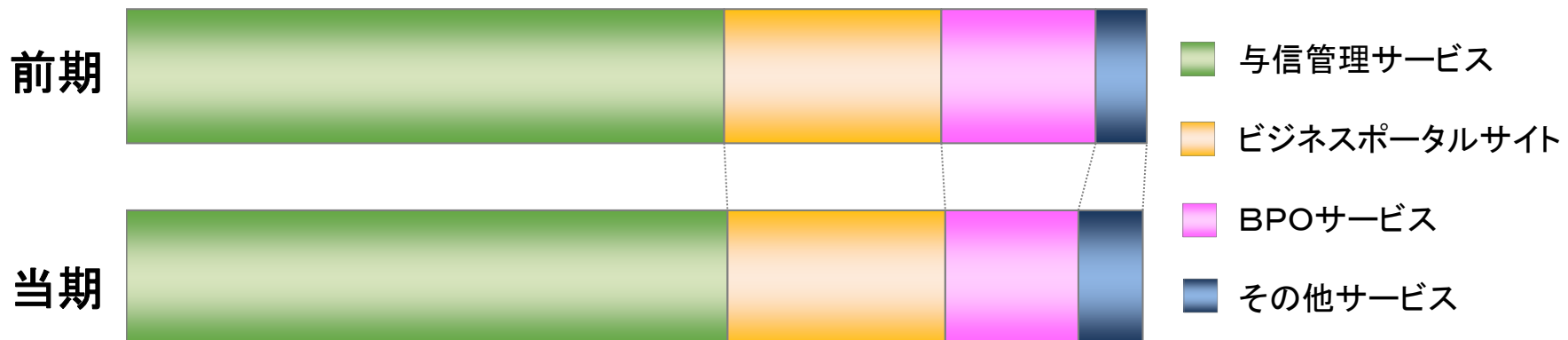
営業利益



（単位：千円）

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	1,484,626	1,493,055	8,429	100.6%
ビジネスポータルサイト	539,530	540,913	1,383	100.3%
BPOサービス	383,433	330,496	△52,937	86.2%
その他サービス	126,739	159,925	33,186	126.2%
調整額（注）	△102,319	△73,202	29,116	—
売上高 計	2,432,010	2,451,189	19,178	100.8%

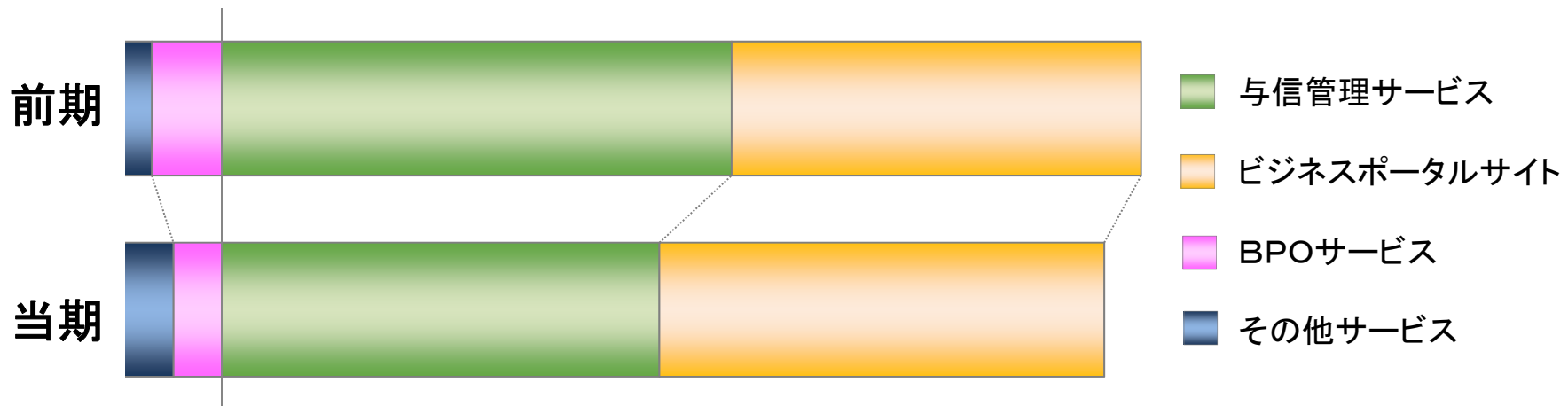
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
与信管理サービス等	159,030	136,493	△22,537	85.8%
ビジネスポータルサイト	127,796	138,849	11,052	108.6%
BPOサービス	△21,903	△15,187	6,715	—
その他サービス	△14,275	△17,697	△3,422	—
調整額（注）	△3,658	△8,073	△4,414	—
セグメント利益 計	246,990	234,384	△12,605	94.9%

（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



(単位 : 千円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	1,266,821	1,263,380	△3,440	99.7%
コンサルティングサービス (注2)	217,804	229,674	11,870	105.4%
売上高 計	1,484,626	1,493,055	8,429	100.6%
セグメント利益	159,030	136,493	△22,537	85.8%
会員数 (ID) (注3) (内、提携会員数)	4,720 (1,690)	4,820 (1,745)	100 (55)	102.1% (103.3%)

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約260万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) 「金融サービス」等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

- ◆ サービス単価の高い一部のサービスの利用件数が低調も、
単価の低いサービス利用が好調で、ASP・クラウドサービスはほぼ前年並み。
- ◆ ポートフォリオサービスの受注件数と受注単価が増加し、
コンサルティングサービスは堅調。
- ◆ 施策実行や九州営業所の立ち上げなど先行投資でセグメント利益は前年同期を下回る。

(単位 : 千円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	477,340	484,692	7,351	101.5%
その他 (注2)	62,189	56,221	△5,968	90.4%
売上高 計	539,530	540,913	1,383	100.3%
セグメント利益	127,796	138,849	11,052	108.6%
会員数 (ID) (注3)	3,564	3,330	△234	93.4%
ユーザー数	128,278	125,609	△2,669	97.9%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

会員数は減少しているもののディスク容量の利用が堅調に推移し、セグメント利益に寄与。



8.BPOサービス 業績

(単位 : 千円)

	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	339,231	330,496	△8,735	97.4%
派遣事業サービス	44,201	—	△44,201	—
売上高 計	383,433	330,496	△52,937	86.2%
セグメント利益	△21,903	△15,187	6,715	—

主力のデジタルデータ化サービスの不調と
前期に一部の売上高をその他のセグメントに移管したこと、
労働者派遣法の改正への対応で売上高が減少。
グループのコストセンター部門としての費用負担でセグメント損失を計上するも、
国内処理センターの集約などの効果で損失額が減少。

(単位 : 千円)

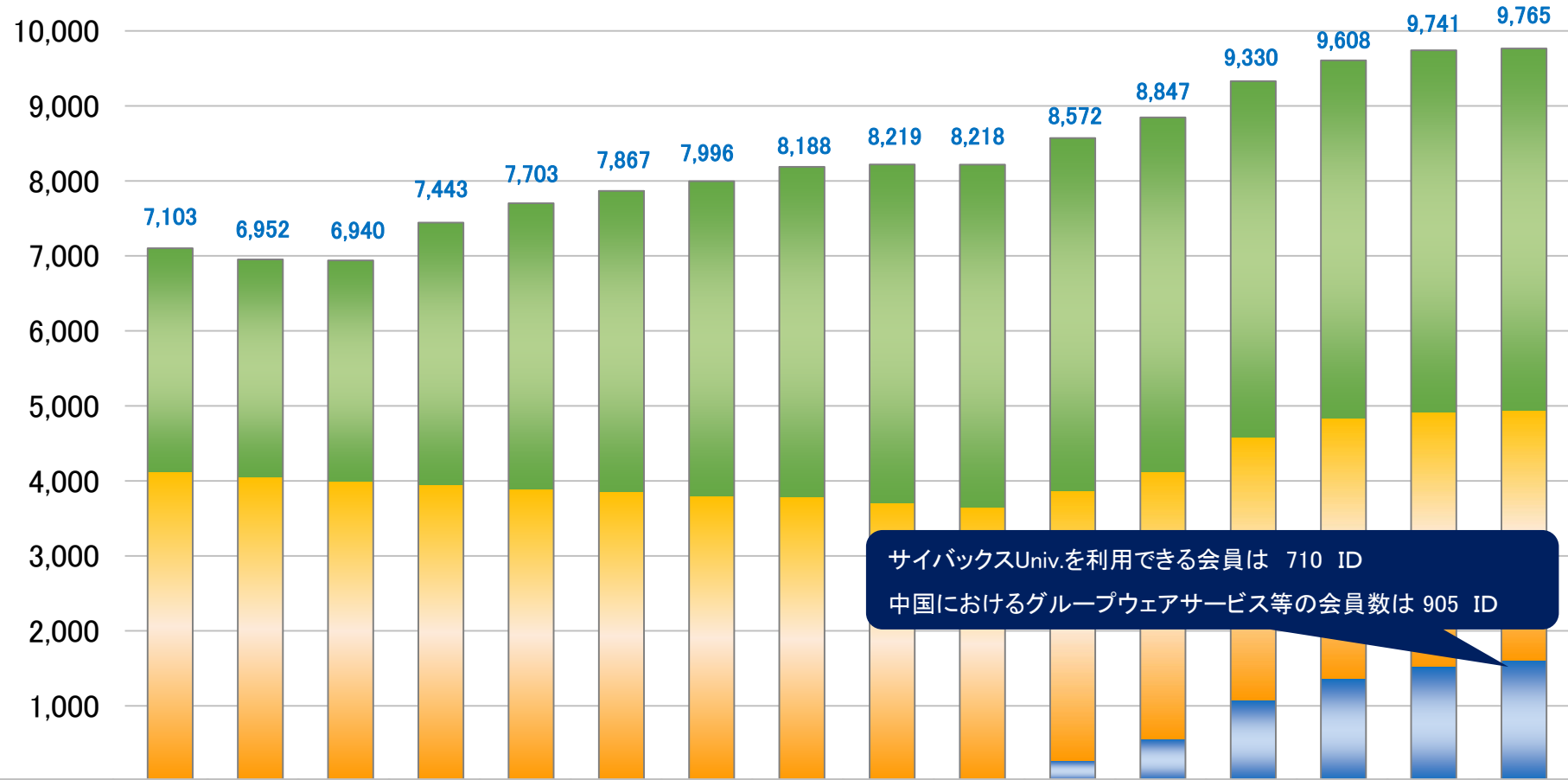
	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	126,739	159,925	33,186	126.2%
売上高 計	126,739	159,925	33,186	126.2%
セグメント利益	△14,275	△17,697	△3,422	—
会員数(ID) ^(注)	563	1,615	1,052	286.9%

(注) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

- ◆教育関連事業は、売上高の増加と業務フローの共通化でセグメント損失額が減少するも、固定費の回収にまで至らず。
- ◆2012年9月設立の利墨(上海)商務信息咨询有限公司が売上高の増加に寄与。中国におけるポータル事業等の会員数は905会員と好調。

10. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



サイバックスUniv.を利用できる会員は 710 ID
中国におけるグループウェアサービス等の会員数は 905 ID

	2010.06	2010.09	2010.12	2011.03	2011.06	2011.09	2011.12	2012.03	2012.06	2012.09	2012.12	2013.03	2013.06	2013.09	2013.12	2014.03
■ 与信管理サービス等	2,985	2,895	2,947	3,488	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820
■ ビジネスポータルサイト	4,118	4,057	3,993	3,955	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330
■ その他サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615
会員数 計	7,103	6,952	6,940	7,443	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765

(注) 上記は重複登録している会員が一部おります。

(単位 : 千円)

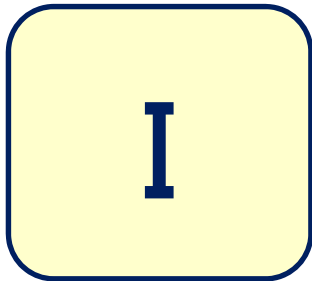
	2013年3月期	2014年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,647,672	3,026,662	378,989	114.3%
固定資産	1,224,889	1,120,481	△104,408	91.5%
資産合計	3,872,562	4,147,143	274,580	107.1%
流動負債	320,562	313,281	△7,280	97.7%
固定負債	58,659	41,305	△17,354	70.4%
負債合計	379,221	354,586	△24,634	93.5%
純資産	3,493,340	3,792,556	299,215	108.6%
負債・純資産合計	3,872,562	4,147,143	274,580	107.1%
自己資本比率	89.1%	90.3%	—	—
1株当たり純資産	885.47円	891.16円	5.69円	100.6%

自己資本比率は90.3%と高水準を維持。

リスクモンスターグループ の評価 (東証JASDAQ:3768)

【RM財務格付】

2014年3月期



【RM財務格付定義】

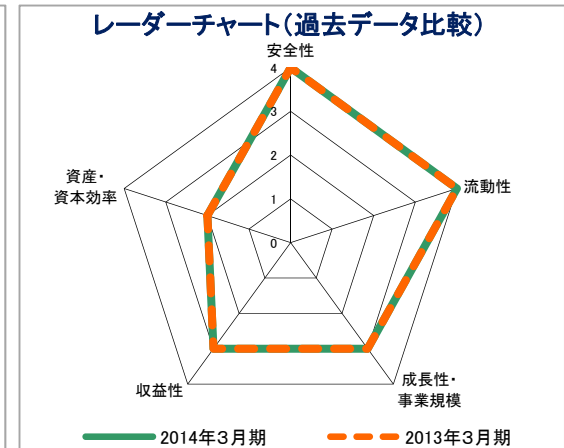
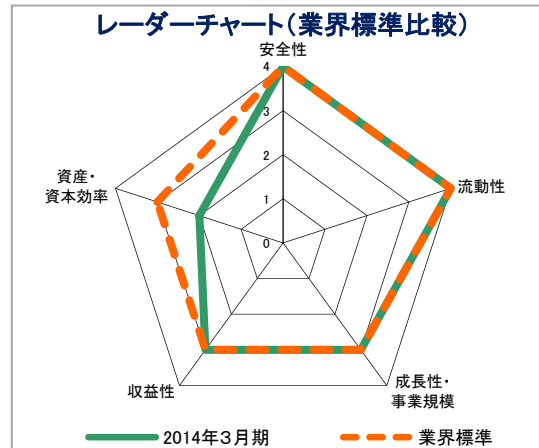
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期
I	I	I	I
2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期	2007年3月期
I	I	I	I
2006年3月期	2005年3月期	2004年3月期	—
I	I	I	—



安全性	2014年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2013年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
実質自己資本比率	☆ ☆ ☆ ☆	
借入金利率		
借入返済年数	☆ ☆ ☆ ☆	

流動性	2014年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
	2013年3月期	☆ ☆ ☆ ☆
流動比率	☆ ☆ ☆ ☆	
当座比率	☆ ☆ ☆ ☆	
現預金回転期間	☆ ☆ ☆ ☆	
手形割引率		

収益性	2014年3月期	☆ ☆ ☆
	2013年3月期	☆ ☆ ☆
売上高経常利益率	☆ ☆ ☆ ☆	
経常収支比率	☆ ☆ ☆ ☆	
ROA(総資産利益率)	☆ ☆	

成長性・事業規模	2014年3月期	☆ ☆ ☆
	2013年3月期	☆ ☆ ☆
売上高増減率	☆ ☆	
売上高規模	☆ ☆ ☆	
経常利益増減率	☆ ☆ ☆	

資産・資本効率	2014年3月期	☆ ☆
	2013年3月期	☆ ☆
売掛債権回転期間	☆ ☆ ☆	
棚卸資産回転期間	☆ ☆ ☆	
総資産回転率	☆	

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。☆が表示されない項目は、評価対象外です。評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2014年3月期連結決算におけるRM財務格付は、Ⅰ～Ⅳの4段階中、最高位の「Ⅰ」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、無借金状態にあり、自己資本比率90.3%と前期89.1%から1.2ポイント上昇し、依然としてきわめて高い安全性水準となっている。この点に関しては、個別決算においても同様であり、自己資本比率93.7%とグループ中核企業として申し分ない水準であると考えられる。

流動性に関しては、連結決算で現預金残高2,562百万円を保有し、流動比率966.1%（前期比140.2ポイント上昇）、当座比率952.6%（同19.3ポイント低下）、個別決算においても流動比率1,196.1%（同198.6ポイント上昇）、当座比率1,152.8%（同180.9ポイント上昇）と、共に引き続き十分な資金繰り余力を有している。

総じて、十分な支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と思料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年度比100.8%の増収推移となった。これは、中核企業であるリスクモンスターの個別決算における売上高が106.1%の増収推移となったことが主因であり、同社がグループ連結売上創出を牽引しているものといえる。

一方で、利益面では、リスクモンスターの個別決算において、営業利益段階で大幅減益を余儀なくされている点で、同社の本業における収益力の低下が懸念されるが、営業外収益などによって収益が確保されており、連結決算における売上高経常利益率は11.5%、売上高当期純利益率は6.6%と前期並となっていることから、引き続き非常に高い水準で利益が維持されているといえる。

連結決算における資産効率について考察すると、ROAが前期に引き続き3.9%と、平均的な水準にとどまっている点については、ROAの構成要素である総資本回転率が0.59回と依然として低水準にあることが原因であると考えられる。現預金等の当座資産が厚く、資金繰りに余力を有する反面、それらの資産が十分に運用されていないことが原因として推測されるため、今後はより高い資産効率が求められよう。

(単位 : 千円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	増減額
営業活動	441,439	365,682	△75,757
投資活動	△246,151	△142,719	103,431
財務活動	△27,560	150,975	178,535
現金に係る 換算差額	2,383	3,177	794
現金増減額	170,111	377,115	207,003
現期首残金高	2,014,344	2,184,456	170,111
現期末残金高	2,184,456	2,561,571	377,115

◆ 営業活動

税金等調整前当期純利益	292,355
減価償却費	257,319
法人税等の支払額	△125,429

◆ 投資活動

有形固定資産の取得による支出	△33,069
無形固定資産の取得による支出	△203,708
投資有価証券の売却による収入	80,473

◆ 財務活動

株式の発行による収入	179,824
配当金の支払額	△31,019

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン(2011年～2015年)

1. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供し、頼られる企業を目指す。
2. 既存事業の収益を安定成長させながら、安定的な事業規模を目指す。
3. 海外事業、海外ネットワークを展開する。
4. 継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。

第3次中期経営計画(2011年～2013年度)

第3次中期経営計画(2011～2013)の成果と基本方針を継承・発展させるとともに、先行き不透明感に対応する。

従来の計画を1年短縮し、2ヶ年を計画期間とした

再チャレンジ「第4次中期経営計画(2014～2015年度)」策定

<p>規模・株式市場</p>	<p>既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大しながら、二部上場基準規模を目指す。</p>	
<p>財務 キャッシュ・フロー 方針</p>	<p>既存事業の安定成長基盤投資</p>	<p>➤ 営業キャッシュ・フロー内での運用。</p>
	<p>事業ごとの配分</p>	<p>➤ 経営・事業環境を勘案し柔軟に配分。</p>
	<p>新規事業投資</p>	<p>➤ 投資目標金額を設定し、積極的に投資する。</p>
<p>資本業務 提携方針</p>	<p>シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係を築くことを目的とする。また、将来、継続的な利益が出るもの、目標としている内部収益率(IRR)が見込めるものとする。</p>	
<p>配 当</p>	<p>配当性向20%以上を目安に安定的な配当を目指す。</p>	

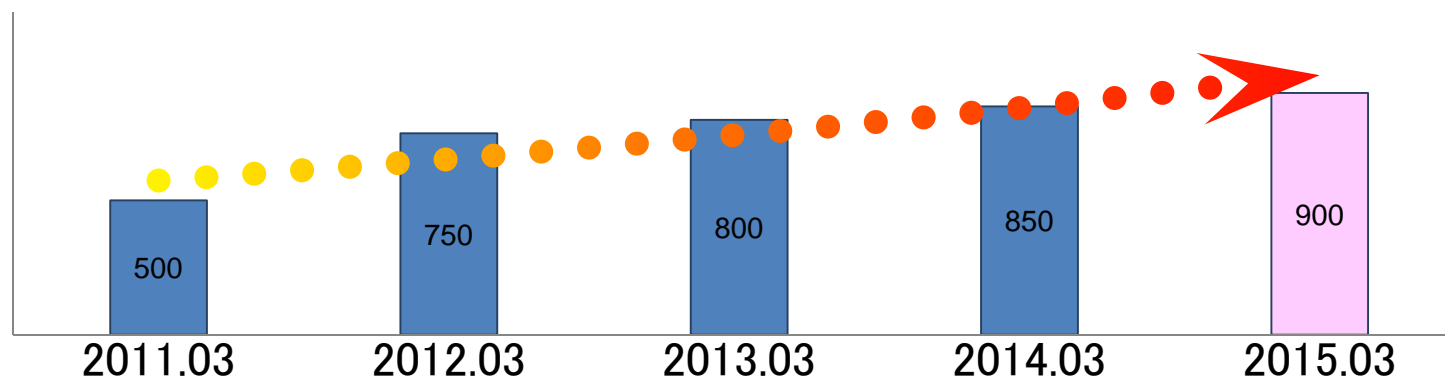
	方針	狙い
与信管理 サービス事業 	BPO事業での業務請負運営ノウハウ及びASPシステムの管理運営ノウハウを総合	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)への足がかりとする
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮	限界利益率の向上を図る
ビジネスポータル 事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化	安定成長を目指す
	ポータル事業としての深化と強化を実現	サービスの浸透度を深める
BPOサービス 事業 	業務請負サービスでのシナジーの追求	グループのシナジー効果
	国内外センターのそれぞれの役割を明確にし、グループ連携と採算管理を徹底	グループ全体のコスト削減に貢献
その他事業 	新規開発投資の再開及び事業の挺入れ	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力

(単位 : 百万円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	2,451	2,620	168	106.9%
営業利益	234	255	20	108.8%
経常利益	281	255	△26	90.7%
当期純利益	162	130	△32	79.9%
1株当たり当期純利益	40.40円	30.93円	△9.47円	76.6%

- ・新2ヶ年計画「第4次中期経営計画(2014～2015年度)」スタート
- ・会員企業様に最適のサービス・コンテンツを提供するための体制構築
- ・プロフェッショナルがあるサービスとわかりやすく使いやすいサービスの追求でユーザビリティと顧客満足度を向上させ、顧客単価のアップと低い退会率を維持
- ・積極的なアライアンスなどによる海外事業やネットワーク強化

- 当連結会計年度は、当初の予定どおり1単元当たり850円(1株当たり8.5円)の配当を実施する予定。
- 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- 中長期的には配当性向20%以上を目標とする。
- 2015年3月期は1単元当たり900円(1株当たり9円)の配当を予定。
- 利益還元施策として自社株式の取得を実施(2014年5月15日～6月30日)
(総額:50,000,000円(上限)、株式総数:100,000株(上限))



1単元当たり配当金	500円	750円	800円	850円	900円
配当性向	15.7%	24.9%	23.7%	21.0%	22.3%

(注) 1単元 = 100株

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、利益還元をするための施策として、株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、
6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。

保有期間 所有単元数	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
300株	当社指定商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当



株主優待の
 ご案内





21.企業概要

(2014年3月末時点)

商号	リスクモンスター株式会社	主事業内容	与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)
設立	2000年9月	所在地	(本社) 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F (大阪支社) 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F
代表者	代表取締役会長 菅野 健一 代表取締役社長 藤本 太一	連結子会社	リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询 有限公司
資本金	1,155,993千円	株式市場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード 証券コード 3768
従業員数	93名(連結) 65名(単体)		
株主	株式会社東京商工リサーチ 株式会社日本M&Aセンター 藤本 太一 株式会社エヌアイデイ 株式会社SBI証券 株式会社オービックビジネスコンサルタント 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) テクマトリックス株式会社 ほか		



リスモン調べ 調査結果

リスモン調べ
第1回
『世界に誇れる
日本企業』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『独創性を感じる
日本企業』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『金持ち企業
ランキング』
調査結果発表

リスモン調べ
第6回
『サービス満足度および
与信管理に関する調査』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『長生き企業
ランキング』
調査結果発表

リスモン調べ
第2回
『環境への配慮が
感じられる
企業ランキング』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『九州・沖縄長生き
企業ランキング』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『経営者のイメージが
強いと感じる日本企業』
調査結果発表

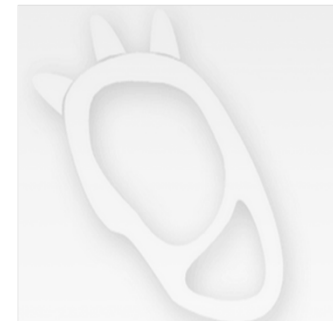
リスモン調べ
第3回
『この企業に勤める人と
結婚したいランキング』
調査結果発表

リスモン調べ
第2回
『お子さん／お孫さんに
勤めてほしい企業』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『10年間A格を
維持している企業』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『仕事に対する
満足度』
調査結果発表

リスモン調べ
第1回
『離婚したくなる
亭主の仕事』
調査結果発表



リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートのことです。
計 13 件の調査結果を発表しました。

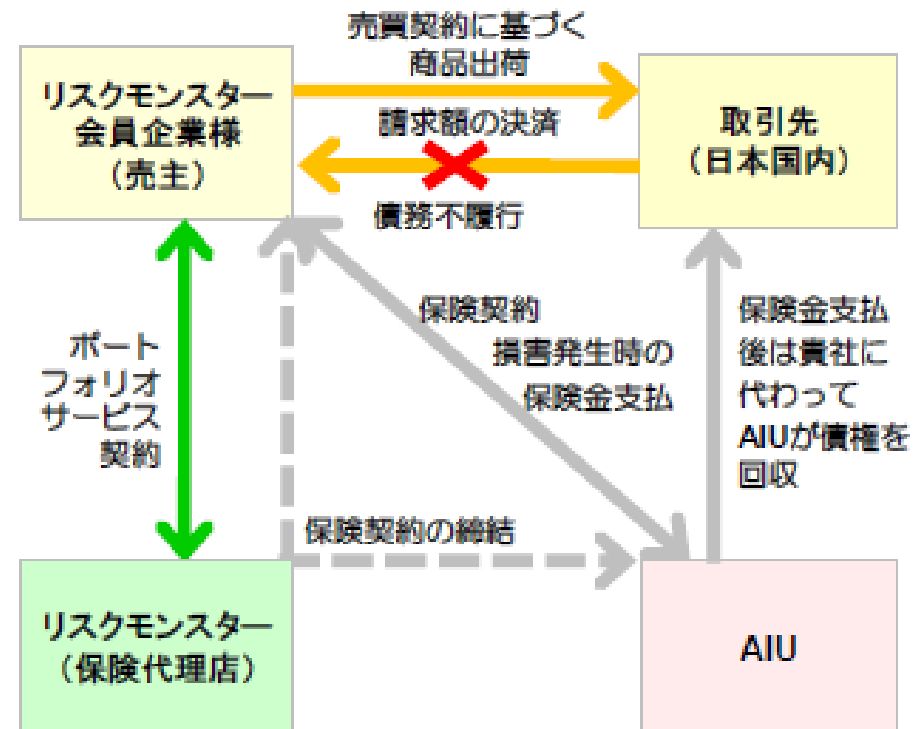
リスクモンスター株式会社

■ リスクモンスター格付特約セット取引信用保険

リスクモンスタのサービスをご利用いただいている企業様向けに AIU 損害保険株式会社 (以下 AIU) の取引信用保険におけるビジネスモデルを構築し、販売を開始いたしました。リスクモンのポートフォリオサービス(売掛債権分析)を定期的を実施し、取引先全体のリスク把握が出来ている企業様向けのプランとなります。

補償の内容

- ・ 取引先に商品を販売し、取引先の倒産や一定期間を超える支払遅延により販売代金が支払われないこと(債務不履行)による損害を補償します。
- ・ 保険期間中の商品の出荷に伴い発生する売掛債権が保険の対象になります。



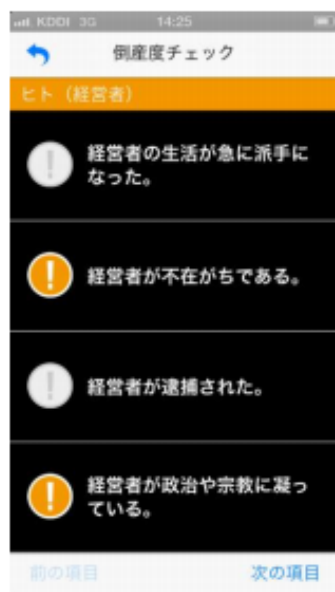
リスクモンスター株式会社

■ 倒産度チェック

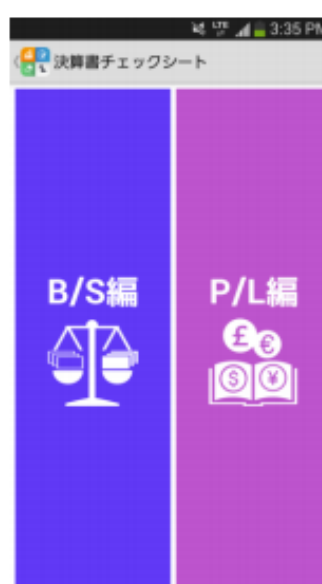
企業の経営状態における危険な兆候の有無をチェックすることで、倒産度を計ることができるアプリです。倒産度チェック以外にも、決算書分析の際に役立つチェックシートやリスモン独自調査のリスモン調べも搭載いたしました。無料のアプリですので、勤務先や取引先など気になる会社をチェックしてみてください。

■ 「倒産度チェック」画面イメージ

<倒産危険度チェック画面>



<決算書チェックシート画面>



<リスモン調べ画面>



リスクモンスター株式会社

■ 与信管理奮闘日記

今回出版した「与信管理奮闘日記」は、堅苦しい文章を用いずに与信管理という業務をライトタッチな小説としてお読みいただけるように仕上げました。与信管理に関する知識のある方はもちろん、知識のない方でも、与信管理の世界の一端を感じていただきながら、スラスラと読んでいただけます。

■ 書籍概要

タイトル : 与信管理奮闘日記
「会社の嘘」を見破る凄ワザ女子登場！
著者 : 藤本太一 川本聖人
監修 : リスクモンスター株式会社
頁数 : 260 ページ
定価 : 1,500 円(税別)
発行 : ダイヤモンド・ビジネス企画
出版日 : 2013 年9月2日



リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

■ J-MOTTO Web給与明細サービス

給与明細、賞与明細、源泉徴収票を電子化し、Web上から配布することができるASP・クラウド型のサービスです。給与明細発行の管理者が、給与計算された明細データをサーバにアップロードするだけで、社員の皆様がご自分のパソコンなどから給与の明細を確認できます。

明細
明細表示

設定
個人設定

明細選択

振込明細 2007/09/28 給与明細 [表示]

源泉徴収票 (選択してください) [表示]

給与明細

印刷用表示
PDFファイルダウンロード

振込日: 2007年09月28日 S22002 樋口 実気76 様

勤怠	
出勤日数	21.00
出勤時間	191.00
深夜勤務時間	71.30
早朝勤務時間	0.00
夜勤務時間	0.00

支給		控除	
基本給	780,030	健康保険料	24,000
深夜手当	17,875	介護保険料	2,000
早朝手当	15,000	厚生年金保険	15,000
夜勤務手当	0	雇用保険料	3,000
調整給	20,000	所得税	200,000
その他(非)	0	住民税	100,000
雑賞金	0		
通勤手当	60,000		
支給額合計	892,905	控除額合計	344,000

差引支給額 548,905

備考

< 操作画面イメージ >

給与明細

2007年09月28日 S22002 樋口 実気76 様

勤怠		支給		控除	
出勤日数	21.00	基本給	780,030	健康保険料	24,000
出勤時間	191.00	深夜手当	17,875	介護保険料	2,000
深夜勤務時間	71.30	早朝手当	15,000	厚生年金保険	15,000
早朝勤務時間	0.00	夜勤務手当	0	雇用保険料	3,000
夜勤務時間	0.00	調整給	20,000	所得税	200,000
		その他(非)	0	住民税	100,000
		雑賞金	0		
		通勤手当	60,000		
		支給額合計	892,905	控除額合計	344,000
				差引支給額	548,905

備考

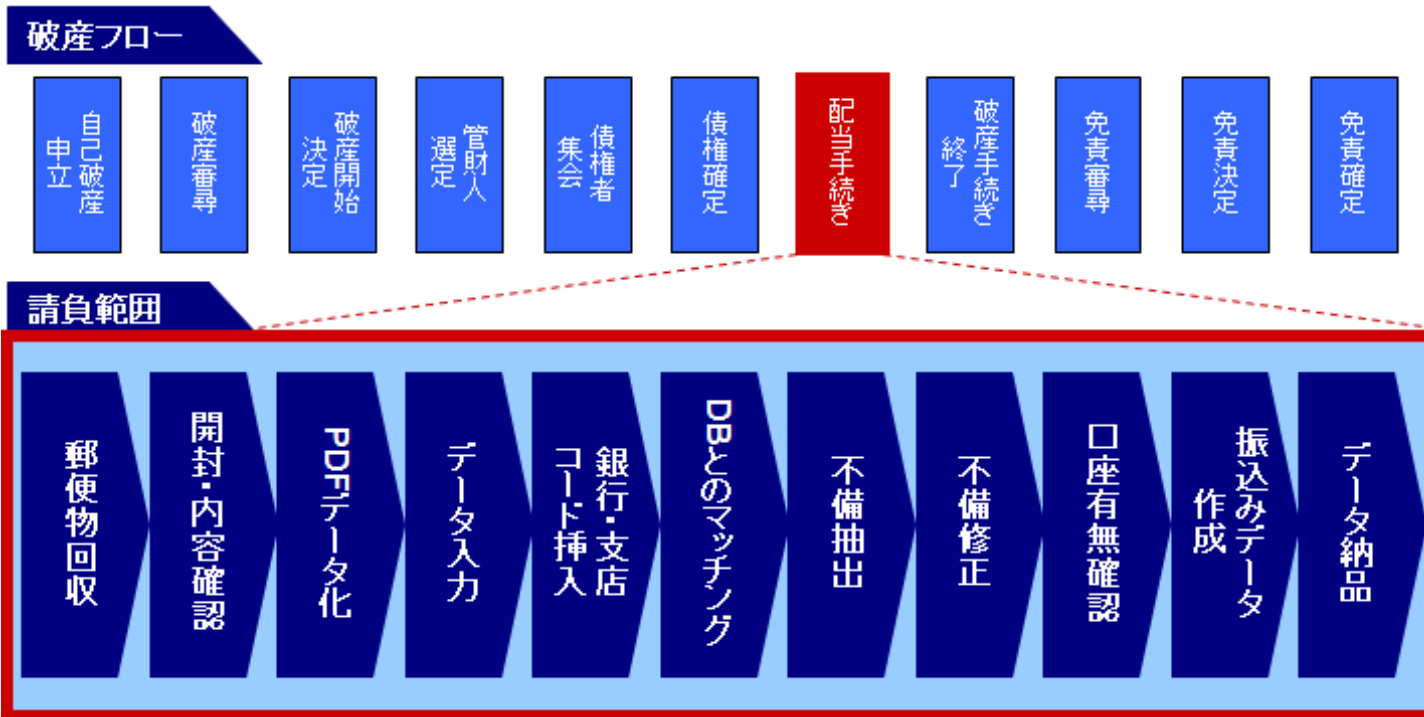
WEB版 by WEEDIMPACT, INC.

< 給与明細イメージ >

リスモン・マッスル・データ株式会社
日本アウトソース株式会社

■ 破産配当金データ作成アウトソーシング

配当金支払い口座情報の入力業務から、配当金の振込データの作成業務を一括で代行いたします。本サービスでは、破産管財人となっている弁護士事務所の中でも、債権者が多数いる破産案件を抱えているような弁護士向けに、配当金支払い口座情報の入力業務から、配当金の振込データの作成業務を一括で代行いたします。



<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)
FAX : 03-6214-0366
Mail : ir@riskmonster.co.jp

【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.rismon-md.co.jp>

日本アウトソース株式会社 <http://www.outsource.co.jp>

サイバックス株式会社 <http://www.cybax.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <https://www.j-motto.co.jp/cn>

